



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 バナーズ
 コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 守屋 武
 (氏名) 藤牧由亘

TEL 048-523-2018

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,487	83.1	86	135.9	78	179.5	68	221.6
24年3月期第2四半期	812	63.0	36	83.8	28	—	21	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 68百万円 (221.6%) 24年3月期第2四半期 21百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	1.73	—
24年3月期第2四半期	0.53	—

(注)平成23年10月1日付で普通株式10株を1株に株式併合しましたが、前連結会計年度の期首に当該併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	5,382	2,635	49.0	66.96
24年3月期	5,617	2,706	48.2	67.14

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,635百万円 24年3月期 2,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	2.00	2.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,747	—	120	—	108	—	91	—	2.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	40,472,172 株	24年3月期	40,472,172 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,118,602 株	24年3月期	154,350 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	39,770,990 株	24年3月期2Q	403,187,685 株

(注)平成23年10月1日をもって10株を1株に株式併合しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期決算書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要とエコカー補助金の効果などにより緩やかに回復基調で推移いたしました。一方で、海外における債務問題や新興国の成長鈍化などにより下振れリスクも存在します。

このような状況の中、当社グループでは、不動産利用事業においては安定収入の維持拡大に向けて、前連結会計年度に達成した熊谷地区の再開発に続き、本庄地区の再開発の検討に着手するとともに、自動車販売事業においても売上高の拡大・収益増大を図るべく、寄居店の店舗・整備工場のリニューアルの実施を行ってまいりました。

その結果、当社グループの売上高は1,487百万円（前年同期比183.1%）となりました。収益面では、営業利益86百万円（前年同期比235.9%）、経常利益78百万円（前年同期比279.5%）、四半期純利益68百万円（前年同期比321.6%）となりました。

[セグメントの概況]

(不動産利用)

前連結会計年度の途中より新規の大手テナント（株式会社ニトリ）への賃貸が開始されたことなどにより、売上高は174百万円（前年同期比128.2%）、セグメント利益は119百万円（前年同期比124.3%）となりました。

(自動車販売)

「エコカー補助金（平成23年度第4次補正予算案）」の受付が平成24年4月より開始されたことや前連結会計年度中にリニューアルオープンした熊谷店に続き、平成24年5月に寄居店がリニューアルオープンしたことなどにより売上高は1,312百万円（前年同期比194.2%）、セグメント利益34百万円（前年同期比593.8%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少等により前連結会計年度末比234百万円減の5,382百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は支払手形及び買掛金や短期借入金の減少等により前連結会計年度末比163百万円減の2,747百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は配当実施による利益剰余金の減少や自己株式の取得等により前連結会計年度末比71百万円減の2,635百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日の決算短信で公表いたしました業績予想に対する修正はありません。

(ご参考)

当社の事業領域は、不動産利用事業並びに自動車販売事業であります。

不動産利用事業におきましては、近年の少子高齢化などの社会状況の変化や地域社会のニーズの変化に合致した、地域住民に愛され親しまれる生活密着型の店舗・施設作りやテナント誘致を推進いたしますと共に、こうした経営資源の利用効率の見直し等、慎重で着実なる施策を検討しております。

具体的な施策としまして、さらなる収益の安定確保に向けて、当社が保有する本庄市内の賃貸物件のリニューアル等や高収益物件の確保に向けて鋭意検討を進めてまいります。

自動車販売事業におきましては、世界的な環境問題への関心の高まりなどを受けた自動車需要のトレンド変化に対応した事業展開を引続き積極的に行います。不確定要素が増える中、需要変動に機敏に対応し、機会損失や在庫リスクの回避に注力いたします。また、ショールームのリニューアルの検討やお客様のニーズに的確に対応したアフターサービスの充実化、保険収益などの付帯利益拡大化、法人営業部門の販売網の構築・強化につとめ、競争力を高めてまいります。

具体的な施策として、ショールームのリニューアルの検討を進めた結果、前期の熊谷店のリニューアルに続き、寄居店につきましても平成24年5月下旬にリニューアルオープンいたしました。

こうした取り組みにより、社会・経営環境の変化に迅速且つ的確に対応できる経営体制の構築を継続することにより、さらなる経営効率の向上を図り収益力の増大を図っていく所存であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

第1四半期連結会計期間より、連結納税制度を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	567,060	372,409
受取手形及び売掛金	57,787	44,375
商品及び製品	120,592	110,883
原材料及び貯蔵品	27	—
前払費用	3,332	47,775
前渡金	14,802	8,181
短期貸付金	66	85,066
繰延税金資産	1,516	1,652
その他	38,907	14,375
貸倒引当金	△618	△335
流動資産合計	803,475	684,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,361,721	3,364,262
減価償却累計額	△2,034,591	△2,076,020
建物及び構築物（純額）	1,327,129	1,288,241
機械装置及び運搬具	90,618	76,564
減価償却累計額	△55,966	△50,242
機械装置及び運搬具（純額）	34,652	26,321
工具、器具及び備品	17,332	16,803
減価償却累計額	△16,003	△15,763
工具、器具及び備品（純額）	1,328	1,040
土地	3,008,639	3,044,439
リース資産	20,336	46,430
減価償却累計額	△742	△2,902
リース資産（純額）	19,593	43,528
建設仮勘定	3,216	—
有形固定資産合計	4,394,560	4,403,572
無形固定資産		
その他	2,416	2,268
無形固定資産合計	2,416	2,268
投資その他の資産		
投資有価証券	18,600	18,600
長期貸付金	1,035,404	915,332
その他	15,332	15,774
貸倒引当金	△652,512	△657,470
投資その他の資産合計	416,824	292,236
固定資産合計	4,813,801	4,698,077
資産合計	5,617,277	5,382,462

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	275,634	190,197
短期借入金	160,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	92,968	62,374
1年内返還予定の預り保証金	58,722	74,876
未払費用	20,507	13,929
未払金	29,222	43,824
未払法人税等	14,204	10,323
未払消費税等	—	11,099
賞与引当金	8,119	8,511
前受金	126,320	93,239
その他	10,749	13,676
流動負債合計	796,448	592,052
固定負債		
長期借入金	70,053	120,807
繰延税金負債	3,303	3,200
退職給付引当金	23,528	25,941
役員退職慰労引当金	10,731	11,358
預り保証金	1,073,481	1,040,009
長期前受収益	79,339	77,204
再評価に係る繰延税金負債	834,654	834,654
その他	18,843	41,982
固定負債合計	2,113,933	2,155,158
負債合計	2,910,382	2,747,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	551,076	551,076
利益剰余金	355,911	344,104
自己株式	△30,591	△90,425
株主資本合計	1,183,767	1,112,124
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,523,127	1,523,127
その他の包括利益累計額合計	1,523,127	1,523,127
純資産合計	2,706,894	2,635,252
負債純資産合計	5,617,277	5,382,462

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	812,361	1,487,471
売上原価	575,418	1,151,936
売上総利益	236,943	335,535
販売費及び一般管理費	200,080	248,593
営業利益	36,862	86,941
営業外収益		
受取利息	2,699	2,890
受取配当金	81	81
その他	305	889
営業外収益合計	3,086	3,861
営業外費用		
支払利息	2,420	7,216
貸倒引当金繰入額	8,000	5,000
その他	1,504	266
営業外費用合計	11,925	12,482
経常利益	28,023	78,320
特別利益		
固定資産売却益	1,934	2,905
特別利益合計	1,934	2,905
特別損失		
固定資産除却損	6,713	3,148
特別損失合計	6,713	3,148
税金等調整前四半期純利益	23,244	78,076
法人税、住民税及び事業税	1,987	9,487
法人税等調整額	△142	△239
法人税等合計	1,844	9,248
少数株主損益調整前四半期純利益	21,399	68,827
四半期純利益	21,399	68,827

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,399	68,827
四半期包括利益	21,399	68,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,399	68,827
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	23,244	78,076
減価償却費	37,257	56,844
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	873	2,412
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△319	627
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	8,079	4,674
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△281	392
受取利息及び受取配当金	△2,780	△2,971
支払利息	2,420	7,216
固定資産除却損	5,395	3,148
固定資産除却損失引当金の増減額 (△は減少)	△15,225	—
固定資産売却損益 (△は益)	△2,674	△2,905
売上債権の増減額 (△は増加)	△14,264	△19,629
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,979	5,807
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,388	△78,815
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	32,314
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△5,209	12,733
その他の資産・負債の増減額	100,131	△71,761
小計	135,239	28,165
利息及び配当金の受取額	3,580	3,540
利息の支払額	△2,432	△2,175
法人税等の支払額	△10,300	△13,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,088	16,000
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,200	△4,500
定期預金の払戻による収入	—	12,000
有形固定資産の取得による支出	△92,731	△42,071
有形固定資産の売却による収入	3,513	6,151
貸付けによる支出	△120,000	△120,000
貸付金の回収による収入	—	155,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△213,418	6,579
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	130,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△220,000
長期借入れによる収入	33,514	87,000
長期借入金の返済による支出	△35,632	△66,840
自己株式の取得による支出	△0	△59,834
配当金の支払額	—	△77,564
リース債務の返済による支出	—	△1,891
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	47,882	△209,130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△39,448	△186,550
現金及び現金同等物の期首残高	521,194	555,460
現金及び現金同等物の四半期末残高	481,745	368,909

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	136,528	675,833	812,361	—	812,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,990	—	8,990	△8,990	—
計	145,518	675,833	821,352	△8,990	812,361
セグメント利益又は損失(△)	96,171	5,836	102,007	△65,144※	36,862

(注) 1. セグメント利益の調整額65,144千円には、セグメント間取引消去8,990千円、

各報告セグメントに配分していない全社費用56,154千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益

当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高					
外部顧客への売上高	174,989	1,312,481	1,487,471	—	1,487,471
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,400	—	17,400	△17,400	—
計	192,389	1,312,481	1,504,871	△17,400	1,487,471
セグメント利益又は損失(△)	119,495	34,655	154,150	△67,209※	86,941

(注) 1. セグメント利益の調整額67,209千円には、セグメント間取引消去17,400千円、

各報告セグメントに配分していない全社費用49,809千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益